

技術・家庭科 成績 Q & A

Q 1 どのように観点別評価の A, B, C の評価が決まるのですか？

A 1 教科で学習内容ごとに目標を設定しています。その目標に対する到達度に応じて ABC の評価をします。

到達度(%)	評価 (観点別評価)
70%以上	A(十分満足できる)
40%以上 70%未満	B(おおむね満足できる)
40%未満	C(努力を要する)

Q 2 「評定」とは何ですか 「評価 (観点別評価)」とはどのように関係しているのですか？

A 2 「評定」はその教科の学習状況全体をまとめたものです。3種類の観点別評価を総括し、5, 4, 3, 2, 1の数値で示します。

Q 3 どのように5, 4, 3, 2, 1の評定が決まるのですか？

A 3 観点別評価の際に算出した「到達度」の平均値を求めることで五段階の評定を行います。

Q 4 観点別評価がすべて「A」なのに、「5」にならないこともあるのですか？

A 4 評価Aとなる到達度は「70%以上」、評定5となる到達度は「85%以上」ですから、すべての観点別評価がAだったとしても、5にならないことはあります。以下の例をご覧ください。

例) オール「A」でも「5」にならない 生徒αくんの場合

◆観点別評価の例

観点	到達度	観点別評価
知識・技能	76%	A
思考・判断・表現	80%	A
主体的に学習に取り組む態度	90%	A

◆評定

到達度平均 $(75 + 80 + 90) \div 3 = 82$ 到達度平均 82%なら

下表により 評定は4となります。

到達度(%)	評定
85%以上	5 (十分満足できるもののうち、特に高い程度のもの)
70%以上 85%未満	4 (十分満足できる)
40%以上 70%未満	3 (おおむね満足できる)
15%以上 40%未満	2 (努力を要する)
15%未満	1 (一層努力を要する)

*学期ごとのテストや課題の難易度により、この表の閾値より低い値とすることがあります。

Q5 学年末の観点別評価（A・B・C）はどのようにしてきまるのですか。

A5 1学期から3学期の各観点の到達度（%）の平均を、Q1の表に照らして年間の観点別評価を決めます。

また学年末の3観点の到達度（%）平均をQ4の表に照らして5段階評定がきまります。

（技術・家庭科においては、ある観点について、「1学期はA、2学期はA、3学期がBだから多いものをもって学年末はAになる」というような評価はしていません。）

【評価の観点・方法】

（1）「知識・技能」

実践的・体験的学習活動を通して、基本的な知識・技能を身につけているか、生活との関わりを理解できているか、定期テスト、実習や作品、レポートなどで評価します。

（2）「思考力・判断力・表現力等」

設計や製作活動における既得の知識・技術の活用状況や生活を工夫したり創造したりする能力を実習作品（クラウドにある製作中のデジタル作品も含む）、レポート、定期テストなどで評価します。

（3）「主体的に学習に取り組む態度」

単にノート提出や授業態度といった情動的側面や知識・記憶を問うものではなく、製作実習やプレゼンテーションなどへの知識・表現力・思考力等の応用や作品形状や方法の改善、実際の場面での課題解決の力について毎時間の学習の取り組み状況、実習課題、レポートなどで評価します。